

シルバー

にいじま



公益社団法人 新島村シルバー人材センター

東京都新島村本村4-10-2 ☎04992-5-1472(FAX 1478)

E-meil: nijima@sjc.ne.jp [http:// www.silver-brain.com/tokyo/nijima/](http://www.silver-brain.com/tokyo/nijima/)



本格的な夏が到来します。

海岸清掃や花の手入れなど、きれいな島づくりにひと頑張りします。

会員の状況 (R3年6月30日現在)

男	99名
女	98名
計	197名

主な内容

村長・議長 あいざつ	2・3面
令和3年度総会報告	4面
令和2年度事業報告 概要	5面
会員募集・シルバーのしくみ	6面

● 就業を通じて地域社会に貢献・活躍します。

総会挨拶 シルバー人材センター名誉会長

新島村長 青沼 邦和



本日は、公益社団法人新島村シルバー人材センター令和3年度定時会員総会が会員の方々のご列席のもと、開催されますことを心からお慶び申し上げます。

平素より皆様方には、村政運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年から新型コロナウイルス感染症の、全世界的感染拡大が続き、日本においても、4月25日に3回目の緊急事態宣言発出が行われました。現在に至っても、感染収束の見通しが立たない状況が続いております。

新島村におきましても、村民の皆様には、コロナ対策で長期間に渡り公共施設利用等ご不便をおかけしております。村民一人一人が自粛や、感染予防に対しての多大なご協力を行って頂いていることに改めて感謝申し上げます。また、新型コロナウイルスワクチン接種につきましても、高齢者に対しては、5月7日から計画的に接種を行っており、既に2回目を接種された方もおられると思います。

シルバー人材センター会員の皆様におかれましても、ワクチン接種は、新型コロナウイルス感染症に対しての有効なものの一つと考えられており、感染予防、重症化を防ぐためにも積極的にワクチン接種を受けていただきますようお願いいたします

会員の皆様におかれましても、「密閉・密集・密接」の「3密」を出来るだけ避け、マスク着用、こまめな手指消毒を行い、新型コロナウイルスに感染しないよう引き続きご注意ください、ご配慮願います。

さて、シルバー人材センターは、昭和60年の設立以来、就業の機会を提供することにより、高齢者の豊富な知識や経験を生かした地域づくりを進めてこられました。

就業を通じて、高齢者の健康維持や社会参加に大いに寄与されるとともに、地域社会の活性化、福祉の向上にも貢献していただいているシルバー人材センターの活動に、深く敬意を表すものでございます。

少子高齢化が急速に進む当村において、高齢者が生涯現役として多様な形で社会参加することが求められています。このような中、活力ある高齢化社会を支える地域の中核的な組織として、シルバー人材センターの担う役割は一層重要なものとなっているところです。

村としましても、高齢者が豊かな知識や能力をいかし、ボランティア活動、地域活動、文化教養活動など、幅広く社会に参加・貢献していただけるよう、今後もシルバー人材センターの運営を支援して参りたいと考えております。

今後も多くの高齢者の方に入会していただくとともに、会員の方々が長年培ってこられた技術や経験を活かし、事業のニーズに応えられるよう積極的に取り組んでいきたいと願っております。

村が進めている、「持続可能な島づくりに向けて」の一翼を担っていただいているシルバー人材センターが、今後ますます充実・発展することを大いに期待しています。

結びに、シルバー人材センターの会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げ、総会の挨拶とさせていただきます。



祝 辞

新島村議会議長 前田 邦弘



皆さんこんにちは。新島村議会議長の前田邦弘でございます。

「公益社団法人新島村シルバー人材センター令和3年度定時会員総会」が本年もコロナウイルス蔓延防止の観点から書面総会となり、会員の皆様方の元気なお顔が拝見できませんが、お元気でお過ごしでしょうか。

会員の皆様方には平素、新島村議会へのご理解・ご協力を賜り、議会を代表し厚く御礼申し上げます。

昨年から、世界中を騒がせているコロナウイルス感染症、各国がその防疫に必死になっていますが、次々と発生する変異型コロナで終息の気配が見えてきません。

この新島村においては、行政のご尽力で高齢者のワクチン接種が進み、接種を終えた会員の皆様方は、少し安心感を抱いているのではないのでしょうか？

6月20日には緊急事態宣言が解消され、蔓延防止に代わるようですが、一日も早くコロナウイルス感染症が終結に向かい、夏の観光がスタートできることを期待しています。

コロナ禍で大きな影響を受けている新島の各産業、特に観光関連産業、漁業、農業にその影響が大きく、村全体に元気がありません。それらと呼応する訳ではないですが、此のところ、新島村は少子高齢化が進み、三地区合わせた村の人口が2,700人を割り込み、産業の硬直化にも拍車をかけています。

新島村の人口統計によると令和42年は1,500人を割り込む予想となっています。東京という、大消費地の配下にあるこの新島なのに、残念ながら地の利を生かした「新たな産業」が生まれてこない。こうした中、新島村シルバー人材センターは『自主・自立・共働・共助』という基本理念に基づき、多岐にわたる活動を続けてこられました。

昨今の厳しい経済情勢は、皆さん方の業務にも少なからず影響を与えていることは理解していますが、シルバー人材センターは、単に高齢者の方々の就業の場というだけでなく、社会参加の場としても重要な役割を担っているものと認識しております。会員の皆様方には島内の随所の花の管理をして下さったり、ボランティアで環境整備をして地域社会に貢献をしていただいている姿は世代を超え、多くの住民に活力と勇気を与えています。

この様なご苦勞に対し、議会も行政と一緒にあってシルバー人材センターの支援と環境づくりに、より一層努めてまいります。

コロナ禍の中、暑い夏を迎えますが、会員の皆様方におかれましては健康に留意され、環境にやさしく住みやすい新島村の構築にご尽力・ご協力くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが新島村シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝・ご多幸を、そしてさらなるご活躍をご祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。



■ 総会報告

6月18日(金)午後1時30分から、令和3年度定時会員総会を新島村住民センターで開催しました。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、人との接触を極力少なくするなど、委任状や議決権行使書を活用した少人数での「3密」を避けての総会となりました。

総会は笹平良文理事の司会進行で始まり、初めに当センター戸田会長が挨拶を行いました。要旨は『新型コロナウイルス感染の流行が全国的に減少傾向にあり、都道府県に出されている、緊急事態宣言を20日で解除し、一部都道府県を除き、まん延防止等重点措置へ移行の決定がされました。この様な状況の中で、1年延期となった東京オリンピック・パラリンピックが7月後半から開催されます。世界中から選手、関係者が来日する事になります。

大会関係者は「安心・安全な大会」と着々と準備を進めていますが、徐々に変異株ウイルスの感染が増えつつある中、不安に思うのは私だけでしょうか。現在、高齢者から順次ワクチン接種が行われていますが、一日でも早く島民への接種が、完了することを望んでいます。(中略)6月14日、関東・甲信地方が、梅雨入りしました。これからは天候不良の日が多く作業に支障が予想されますが、梅雨明けとともに、炎天下の作業になります。熱中症並びに、観光客の来島も徐々に多くなって来ると予想され接触の機会が多くなります。引き続き新型コロナウイルス感染等十分注意しながら、健康維持と福祉の受け手から社会の担い手として、生涯現役を目標に、就業をお願いします。』と締めくくり挨拶としました。

そして名誉会長の青沼邦和村長からのご祝辞を頂きました。引き続き議決権数の報告後(※)、議長に植松正光氏を選出、議案等審議に入りました。

[報告事項]

- 監事の監査報告について
- 令和2年度事業報告について

[決議事項]

- 第1号議案 令和2年度計算書類等の報告について
- 第2号議案 「定款」の一部改正について
- 第3号議案 理事10名の選任について
- 第4号議案 監事1名の選任について

令和2年度計算書類等の報告及び定款の一部改正、理事10名の選任、監事1名の選任、共に原案通り可決承認されました。

[その他の報告事項]

- 令和3年度事業計画・収支予算の件
- 議案等審議終了後、本総会をもって退任される役員2名に役員表彰を行いました。
- 前田 富捷 様・梅田 良治 様 長い間お疲れさまでした。ありがとうございます。

選任された理事

戸田 茂	植松 正光
梅田 峰一	佐藤 美恵子
笹平 良文	川島 孝男
登 明	北村 典和
宮川 貴司	宮川 久志

選任された監事

百井 理佐子



3密を避けた総会の様子

※ 議決権数の報告

会員総数 197名 出席者 191名 欠席者 6名
(当日出席者26名・議決権行使5名・代理行使160名含む)

令和2年度 決算報告

(単位：円)

事業実績 前年度との比較		
	令和元年度	令和2年度
事業契約金額(円)	129,511,017	125,099,281
就業延日人員(人)	20,566	19,685
就業実人員(人)	140	136
契約件数(件)	810	799
年度末会員数(人)	212	202

契約先内訳 前年度との比較 (円)		
	令和元年度	令和2年度
内訳金額		
公共機関	122,686,649	117,592,512
企業	2,991,938	2,698,867
家庭	1,958,295	3,037,222
独自事業	1,874,135	1,770,680
合計	129,511,017	125,099,281

科目	公益目的 事業会計	法人会計	計
経常収益	149,997,358	3,092,299	153,089,657
受託事業収益	120,444,790	2,931,362	123,376,152
独自事業収益	1,690,880	32,249	1,723,129
受取会費	101,500	101,500	203,000
受取補助金等	27,733,000	0	27,733,000
特定資産運用益	1,799	1,799	3,598
雑収益	25,389	25,389	50,778
経常費用	146,584,686	3,092,299	149,676,985
事業費	146,584,686	0	146,584,686
管理費	0	3,092,299	3,092,299
当期経常増減額	3,412,672	0	3,412,672
経常外収益	122,814	13,646	136,460
経常外費用	3	0	3
当期経常外増減額	122,811	13,646	136,457
当期一般正味財産増減額	3,535,483	13,646	3,549,129
一般正味財産 期首残高	27,566,700	3,191,129	30,757,829
一般正味財産 期末残高	31,102,183	3,204,775	34,306,958

(科目抜粋)

令和2年度事業報告 概要

新年度に入り、新型コロナウイルス感染症に伴いその被害を最小限に抑え、流行の早期収束を目指す様々な分野での対応が日々変化していく状況下でした。

村の各種のイベントの中止や島内への観光客の受け入れ制限などもあり、いつもとは異なる就業形態でスタートしました。

当センターでは、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、各会員にマスクの配布、草刈り作業班の集合時間、場所の変更、清掃作業班にはアルコール除菌スプレー、使い捨て手袋の配布、各種会議は、机の配置、窓の換気などを東京しごと財団、村からの情報提供を参考に工夫しながらの活動の実施。定時会員総会については、会員の健康と安全を優先する観点から、可能な限り委任状や議決権行使の活用による当日の来場することなく議決権行使できることのご案内や規模などの縮小により実施しました。また、残念ながら会員サロンデー、交通安全講話、ボランティア活動等多くの会員が集まり3密状態になるような活動については中止としました。

7月1日、村では「自粛要請の解除」今後は感染予防を踏まえた暮らしや活動の仕方「新しい生活様式」を実践していくことが求められました。

このような状況の中、今年の関東・甲信越地方の梅雨明けは、平年より11日遅い8月1日でした。梅雨明けと同時に酷暑の中、7月下旬から8月末の観光シーズンは、海岸清掃を主体に炎天下を避けた早朝からの海浜清掃並びに軽作業と、3地区の実情に合わせた夏期就業体制にシフトしました。天候にも恵まれ、また、毎年心配される海浜への流木、漂着ごみも比較的少なく順調な夏期就業期間であり、心配された熱中症も幸いにも報告はありませんでした。今年も会員の要望により、8月10日から5日間の夏休み（お盆休み）とし、9月1日からは通常作業に入り、毎年実施されるミサイル発射試験に伴い防衛省施設内の草刈り作業を実施しました。施設管理、清掃作業については、各施設とも前年度と同様に交代要員の確保が十分でないまま現在に至っています。

次に、独自事業である正月飾りは、天候不良などで藁の入荷が遅れ、例年10月の前半には作製が始まるのが、今年度は11月からの開始となりました。作製日数が少ない中、多くの会員のお力添えにより、無事住民の皆様にお届けする事ができました。飾りの製作会員は限られ、常に余裕の無い状況であり、技能の継承、後継者の育成確保を早急に図る必要があります。

毎年作業事故「0」を目標に事業を実施しており、今年度もしごと財団、安全就業指導（安全パトロール）等の実施により、「事故防止」に細心の注意を払いながら安全就業に努めたところです。

今後も会員が元気に働くことを通じて、活力ある高齢社会、地域社会づくりに貢献すると共に、健康で生きがいのある生活ができることを目指し、関係機関と連携を密にして、「自主的・主体的な組織理念」と「共働・共助の事業理念」に基づき、健全な事業運営を図ってまいります。



